

包摂型コミュニティ形成プロジェクト

【概 要】

様々な理由により社会的にマージナルな位置におかれ、社会的排除の対象になりやすい外国にルーツをもつ地域住民が、地域で人びとの間に包摂されて暮らしていくことが可能になるようなコミュニティ形成の可能性と課題を考える。そして将来的には、多様な地域住民がその属性に関わらず集えるような居場所づくり等によるコミュニティ参加・統合という包摂の方向性と、教育との接続の問題も含めた就労参加による包摂の方向性を探っていきたい。

このプロジェクトは特に外国人が集住していない山陰地方に焦点を当てる。エスニック・コミュニティや同胞ネットワークが希薄な地域において多様な住民を包摂する地域づくりはいかにして可能なのかという課題を考えていく。

【キーワード】 社会的排除と包摂、差別・偏見、外国人、若者、子ども、学校、教育、進路、コミュニティ、居場所

【参加メンバー】 仲野 誠（地域政策学科）：鳥取県の在住外国人の現状把握とネットワークづくり
児島 明（地域教育学科）：ニューカマー外国人の子ども・若者やその家族（特に出雲地方を中心に外国人青少年の進路をめぐる諸課題について）

【計 画】 1 年目：鳥取県・島根県における外国にルーツをもつ人たちの生活の現状を把握することに努める。鳥取県調査では主に仕事や婚姻で定住している外国人の現状を、島根県調査では進路選択という課題を抱える外国人青少年を中心に調査する。
2 年目：1 年目で明らかにした山陰地域の課題を深めるために、包摂型コミュニティの実現のために既に様々な実践をしている先行者から学ぶ機会をつくり、山陰地域における取り組みの糧にしたい。そして鳥取県・島根県でのネットワークづくりにつなげる。
3 年目：鳥取県・島根県における現状と課題をまとめる。このプロジェクトが終了した後にもこの企画を継続できるようなネットワークや基礎づくりを継続する。

【地域連携先】 鳥取県文化観光局交流推進課、鳥取県国際交流財団、鳥取県外国人教育研究会、タイム、しまね国際センター、島根県教育庁義務教育課、島根県出雲市立塩冶小学校、島根県出雲市立第二中学校